

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 1 部門第 2 区分
【発行日】令和 6 年 6 月 6 日(2024.6.6)

【公開番号】特開 2023-136892(P2023-136892A)
【公開日】令和 5 年 9 月 29 日(2023.9.29)
【年通号数】公開公報(特許)2023-184
【出願番号】特願 2022-42821(P2022-42821)
【国際特許分類】
A 63 F 7/02(2006.01)
【FI】
A 63 F 7/02 326 Z

10

【手続補正書】
【提出日】令和 6 年 5 月 29 日(2024.5.29)
【手続補正 1】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】

20

【特許請求の範囲】
【請求項 1】

第一制御手段を備え、
第一制御手段は、繰り返し実行される特定処理を実行可能であり、
情報を報知可能な報知手段と、
開放状態及び閉鎖状態に変位可能な第 1 可変部材と、
開放状態及び閉鎖状態に変位可能な第 2 可変部材と
を備え、
電源投入後における付与される遊技価値数と使用される遊技価値数との差数が最も少ない
状況を基準とした当該基準からの増加数に関する差数データを記憶可能であり、
前記差数データが所定数に到達した場合には、遊技の進行がされない抑制状態となり得る
よう構成されており、
前記差数データの初期値は 0 となっており、
前記特定処理において、前記差数データの更新処理を実行可能であり、
前記差数データの更新処理では、所定の加算処理と所定の減算処理を実行可能であり、
前記差数データが 0 である状況で前記所定の減算処理を実行した場合において、前記所定
の減算処理の実行後の前記差数データは初期値の 0 となっており、
前記差数データが前記所定数よりも少ない特定数に到達した場合に、遊技機外に所定の信
号を出力するための所定の処理を実行し、
第 1 の条件を満たした場合、第 1 の終了条件を満たすまで、前記第 1 可変部材が、開放状
態を少なくとも採り得る第 1 動作を実行するよう構成されており、
第 2 の条件を満たした場合、第 2 の終了条件を満たすまで、前記第 2 可変部材が、開放状
態を少なくとも採り得る第 2 動作を実行するよう構成されており、
前記第 1 可変部材が前記第 1 動作を実行している状況で、前記差数データが前記所定数に
到達したときには抑制状態とならないよう構成されており、
前記第 2 可変部材が前記第 2 動作を実行している状況で、前記差数データが前記所定数に
到達したときには抑制状態となるよう構成されている
ことを特徴とする遊技機。

30

40

【手続補正 2】
【補正対象書類名】明細書

50

【補正対象項目名】 0 0 0 5

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【 0 0 0 5 】

本態様に係る遊技機は、
第一制御手段を備え、
第一制御手段は、繰り返し実行される特定処理を実行可能であり、
情報を報知可能な報知手段と、
開放状態及び閉鎖状態に変位可能な第 1 可変部材と、
開放状態及び閉鎖状態に変位可能な第 2 可変部材と
を備え、
電源投入後における付与される遊技価値数と使用される遊技価値数との差数が最も少ない
状況を基準とした当該基準からの増加数に関する差数データを記憶可能であり、
前記差数データが所定数に到達した場合には、遊技の進行がされない抑制状態となり得る
よう構成されており、
前記差数データの初期値は 0 となっており、
前記特定処理において、前記差数データの更新処理を実行可能であり、
前記差数データの更新処理では、所定の加算処理と所定の減算処理を実行可能であり、
前記差数データが 0 である状況で前記所定の減算処理を実行した場合において、前記所定
の減算処理の実行後の前記差数データは初期値の 0 となっており、
前記差数データが前記所定数よりも少ない特定数に到達した場合に、遊技機外に所定の信
号を出力するための所定の処理を実行し、
第 1 の条件を満たした場合、第 1 の終了条件を満たすまで、前記第 1 可変部材が、開放状
態を少なくとも採り得る第 1 動作を実行するよう構成されており、
第 2 の条件を満たした場合、第 2 の終了条件を満たすまで、前記第 2 可変部材が、開放状
態を少なくとも採り得る第 2 動作を実行するよう構成されており、
前記第 1 可変部材が前記第 1 動作を実行している状況で、前記差数データが前記所定数に
到達したときには抑制状態とならないよう構成されており、
前記第 2 可変部材が前記第 2 動作を実行している状況で、前記差数データが前記所定数に
到達したときには抑制状態となるよう構成されている
ことを特徴とする遊技機である。
< 付記 >
尚、本態様とは異なる別態様について以下に列記しておくが、これらには何ら限定される
ことなく実施することが可能である。
本別態様に係る遊技機は、
付与された遊技価値数と使用された遊技価値数との差数に関する差数データを記憶可能
であり、
前記差数データが所定数に到達した場合には、遊技の進行がされない抑制状態となり得
るよう構成されており、
遊技球が発射可能な第 1 の状態と第 2 の状態とを有しており、
前記第 1 の状態では前記差数データが更新され得る一方、前記第 2 の状態では前記差数
データが更新されない
ことを特徴とする遊技機である。

10

20

30

40

50